

年 月 日

名古屋経営短期大学長 殿

所 属
職 名
電話番号
E-mail
氏 名

㊟

名古屋経営短期大学における研究活動における不正行為への防止及び対応に関する規程に基づき、下記の研究活動の不正行為について通報します。

記

- 1 不正行為を行ったと思料する職員等の氏名又は研究グループの名称
所 属：
職名等：
氏名又は名称：
- 2 不正行為の種類（該当する□にレを記入願います。）
 - 捏造：存在しないデータ及び研究結果等を作成すること。
 - 改ざん：研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ又は研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること。
 - 盗用：他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を当該研究者の了解又は適切な表示なく使用すること。
 - 二重投稿：他の学術誌等に既発表又は投稿中の論文と本質的に同じ論文を投稿すること。
 - 不適切なオーサーシップ：論文著作者が適正に公表されないこと。
 - 研究結果の漏洩：非公開の他人の研究成果、文章又は知的財産を、当該研究者等の知ることなく外部に公表又は漏らすこと
 - その他：（ ）
- 3 不正行為の詳細内容
- 4 不正行為の発生時期及び場所
時期： 年 月
場所：
- 5 不正行為と思料する理由
- 6 証拠資料
- 7 関連する研究費（わかる範囲で記入願います。）
助成機関名：
資金名称：
課 題 名：
番 号：

8 その他（記述は任意です。希望すること等がありましたら記入願います。）

- ※1 ここに記載された情報は、必要な調査を行うためだけに使用し、それ以外の目的に使用したり、公開したりすることはありません。また、通報者は、通報をしたことを理由として、不利益な取扱いを受けることはありません。
- ※2 ここに記載された情報に関し、より詳細な情報、調査への協力を求める場合があります。
- ※3 調査の結果、悪意（被通報者を陥れるため若しくは被通報者が行う研究を妨害するため等、専ら被通報者に何らかの損害を与えること又は被通報者が所属する組織等に不利益を与えることを目的とする意思をいう。）に基づく通報を行ったことが判明した場合は、通報者の氏名の公表、懲戒処分、刑事告発その他必要な措置を講じることがあります。